（一）　第四十二號　（土曜日）　京城新報　明治四十年十二月廿八日　（日月）　明治四十年十一月三日第三種郵便物認可

京城新報

●新聞料　●郵便料　●廣告料
●陰暦　十一月廿四日
印刷人　山下英一郎
發行所　京城新報社

覆面を脱ける日本

本篇は英人マッンヂー氏の所述にして「貿易」より轉載したるもの也

▲世界戰爭の祝福　戰爭は呪詛と禍福とを與へたりき試に想へ今茲に死に瀕するが如き窮乏の一國ありとせむ（若し貧富を貨幣に依て計るとせば）產業は資本の欠乏と需要者無の爲めに萎微して振はず外國の資本家亦其國法の制限あるが爲めに容易に投資するを肯せざる境遇に於て日本が戰爭前銀の產業に要する公債を倫敦市場に募集し得ざりしは猶今日波蘭の紡績業者が爲し能はざるが如なりしならむ

▲勝利と外債成立　斯くて一九〇四年の勝利は來れり世界の財嚢は其袋を緩め來り幾千萬磅の金は日本に注入され東京に於て募集せられたる日本公債の幾部亦直に海外に於て勝せらるゝ事となれり從來生活にさへ困難を感じたりし日本の製造業者は俄然政府の注文に應ずる爲め日夜作業に從ふとなり賃銀は騰貴し來れり而かも此等は概ね外國の資金が之を拂へるものにして實に戰費の八割五分は公債に依りて支辨せられ其の主要なる部分は日本に於て消費せられたるなり

▲大景氣の繼續　戰爭終局を告ぐる後と雖も日本の榮華は繼續せられ昨年英米の資本家は身自ら日本を訪ひ又は代理者を派して投資の方途を索めしめたり、されど日本に於ては外國人の企業及び資本に對する幾多の制限あるが爲め其の多くは手を引きたるも外國資本の可なるが輸入せられたるより日本の大景氣は依然として持續せられたりされども今や此の外資の注入は殆ど沙汰止となれり蓋し歐米の大資本家は其資本を投せる事業に向て管理權を得むとし猶其の利益の大部分を獲むと欲するに日本は自衛上之を拒絶したり日本に於ける外國人は普通の狀態に於て六分の利を得るは容易にして若し多少の危險を冒さむか更に多くの利息を得るならむと雖も運船鐵道又は鑛山こゝふ所有すること能はず唯共同せる日本人の僕に坐視傍觀せざるを得ざるなり如くにして日本の投機的商界は漸次其勢を進めて今や殆ど重大なる國民的危難を感ずるに至る極度に達し熱熱は全國に普く波及し大市街には新なる生活狀態を發生し人民は前代未聞の生活を爲すに及べり、貧富の差番如も其の妻に與へ得ずともせめては其兒童には洋服を着せしむるなり其の家族には到底あてがひ得べくもあらぬ收入に苦しむ手代も自らは牛乳を飲まむとするなり新會社は殆ど一時間毎に創立せられ、電氣事業工場、造船工場及び銀行業等の新設到處に傳へらる此等戰爭終局後に創立せられたる新事業の資本總額は幾億圓に以て計算せらるゝも本來此國の資金は猶甚だ缺乏つゝあるゝも、是れ豐驚くべきの現象にあらずや既に會社の株券は五割八割乃至十割に奔騰し所謂成金驚なるもの〻輩出となり昨日の商人は今日の男爵と變じ來れり、日本のジョン、モーレーたる大隈伯は絶叫して今の日本人民は各種新事業の爲めに自ら苦しまむとする者なりと唱へぬ、而かも血氣の日本青年は只唯富まむが爲めの大望もて猶進みつゝあるなり。

▲日本の勞銀率　日本の勞銀は近來非騰したりとは云へ猶不合理にも低廉なり若年者は往々無給にて勤務することあり婦人の室内にて賃仕事する者は一個月三圓五十錢を得ば足れりとし工場に在る者亦一日十錢を得るに過ぎず一日五十五錢は頗る熟練せる職工の得る所にして余が目睹せる所に依れば某工場の備主は其の機械に一日一圓を支拂ふを以て相場以外の給料なりとせり巡査は一個月八圓より始めて十二圓に及び時として一週五圓を賞給さるゝことあり而かも此の薄給なるに拘はらず彼は外國より受領人の後之を分離して大部分を製油となし巨利を占つゝある有樣なり而して現稅に於てさへ相當の利益を收むる能はざるより我が二三十七萬八千餘圓を增加せり尚は其國別に於ける增加の數量を示さば輸入に於て英國は百〇九万一千三百餘圓米國は七万三千一百餘圓獨逸は三萬六千六百餘圓佛國は七千四百餘圓露國は二千九百五十餘圓諸國は二千三百餘圓其他七千三百餘圓にして日本は三萬七千六百餘圓支那は二十五万三千餘圓を減少せり而して韓國產貨物の輸出に於ては日本は三十五萬四千餘圓支那は十八萬〇八百餘圓を增加し外國產貨物の再輸出に於ては日本は三十九萬四千四百餘圓支那は二十五萬九千五百餘圓を增加し露國は十三萬五千餘圓を減少せり金銀及貨幣の輸出に於ては日本は二十一萬九千餘圓支那は五万八千九百餘圓輸入に於ては日本は四十二萬四千餘圓支那に於ては二十一萬八千八百餘圓を增加せり尚は其國別に於ける增加の數量を示さば輸入に於て英國は百〇九万一千三百餘圓米國は七万三千一百餘圓獨逸は三萬六千六百餘圓佛國は七千四百餘圓露國は二千九百五十餘圓諸國は二千三百餘圓其他七千三百餘圓にして日本は三萬七千六百餘圓支那は二十五万三千餘圓を減少せり而して韓國產貨物の

歲暮大賣出し

蒲團 打弓綿類
太物 吳服

以上

本月十五日より三十一日迄歲暮大賣出し仕り添物進呈致候に付多少に不拘御買上けの程伏て奉希候敬具

京城本町一丁目郵便局前電話百四十七番

若林支店

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

資本金三百万圓

本店 大阪市西區北堀江通五丁目
支店 釜山 仁川 平壤 鎭南浦 安東縣

株式會社 **第五十八銀行京城支店**（電話五八番）

爲替取組	東京
先物	南山
組合	北陸
北海	陽山
海道	海道
海道	道道
海道	道道
海道	道